

りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修 2023

～実際には、どんなお仕事？ 公共ホール～

1. 対象 大学生、公共ホール・劇場職員で業務経験がおおむね5年未満の方
2. 開催期日 2023年8月8日（火）12:30～8月11日（金）12:00
3. 開催場所 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館
4. 参加費用 大学生：研修参加費無料、8月10日昼食代（スペイン料理折詰）1,650円
社会人：研修参加費 10,000円、8月10日昼食代（スペイン料理折詰）1,650円
※参加費以外の経費（交通費・宿泊費・食費等）は個人負担です。
5. 定員 8人程度
6. 募集期間 2023年5月15日（月）～7月15日（土）
※ただし、定員に達した段階で締め切ります。
7. 申込方法 以下の Google フォームかメールでお申し込みください。



りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修
参加申込み QR コード

メール申込みの場合は、次の事項を送信してください。（メール送信先：りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部 茨木 y-ibaraki@ryutopia.or.jp）

①氏名、②住所、③連絡先（電話、メールアドレス）、④年齢、⑤所属（学校名、学部、学科、学年あるいは会館名）、⑥自分以外の緊急連絡先、⑦この研修に参加しようと思った理由、この研修で何を学びたいか

8. カリキュラム内容

- (1) 公共ホール概論/歴史と社会的役割の変化をたどったあと、公共ホールの活動がなかなか活発にならない具体的な原因を具体的に探る。
- (2) りゅーとぴあ概論/りゅーとぴあの施設機能と、やってきた工夫を見る。「公共ホール概論」と対比すると、より立体的に理解できるようになる。
- (3) 公共ホール、現場の声 / 一口に公共ホールと言っても、その実務は多岐にわたる。それぞれのサービスの現場を担っている人から、生の声を聞く。
- (4) 新しい時代の PR/時代が変わる中で、単なる「商品セールス」ではない PR について考える。
- (5) いくつかの設定されたテーマの中から、自分が興味ある項目について、りゅーとぴあ音楽企画課職員にインタビューして深掘りする。

9. 問い合わせ先

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部 茨木

y-ibaraki@ryutopia.or.jp

電話：025-224-5614 FAX：025-224-5626

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2（白山公園内）

ここが特徴！ りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修

- ① 3つの専門ホール（コンサートホール・劇場・能楽堂）の集合体である、りゅーとぴあ。なぜこのようになったのかを見ていくと、我が国の公共ホールの歴史を踏まえた、一つの結果であることがわかります。また、りゅーとぴあの現在の運営からは、施設面だけでなくソフト面においてもさまざまな工夫が発見できます（もちろんたくさん課題も）。りゅーとぴあを通じて、【公共ホールの姿】が立体的に見えてくるでしょう。



- ② 公共ホールは、静的な建物ではありません。地域に対して、さまざまな文化サービスを日常的に提供しているアクティブな「文化機関」です。その現場で働いている人が何を目指し、どんなサービスを提供しているのか、何を感じているのかを直接聞いてみましょう。そうすることで、【公共ホールの可能性】が具体的に見えてきます。



- ③ 時代が大きく変わっていく中で、最適なPR手法も変わっています。注意してよく見ると、お客様の「チケットを買う」という行動の前に、その行動を生み出す大切な前提条件があることがわかってきます。キーワードは「共感」。今、りゅーとぴあで行なわれている実践も踏まえて、【共感を得るために何ができるか】を考えてみましょう。

昨年の参加者の声

今回の音楽アーツ・マネジメント研修に参加したことで、私は大学での学修の方向性を客観的に見つめ直し、そして方向性を見極めることができました。

中でも朝の目覚ましディスカッションでは、アーツ・マネジメントの深い部分に触れることができました。中でも『永遠に公共財を投じなければ存続できないものは悪である』という言葉が印象に残っており、ずっと胸の中でモヤモヤしています。このモヤモヤの原因は、現時点での私には、芸術の持つ力、必要性を社会に対して論理的に説明することができないからだと考えています。この点について、今後の学修の中で自分の考えを確立させていくと決意しました。

また、研修生の皆さんとの出会いも、今回の研修での大きな収穫です。それぞれが真剣にアーツ・マネジメントと向き合っており、とても刺激的な環境でした。自分の人生を一步前に進める深い経験ができました。

（大学2年）